令和8年度　環境保全計画書

株式会社　ロック・フィールド　神戸ファクトリー

目　　次

①　環境保全に関する基本方針

②　環境保全にかかわる組織の状況

③　2024年度の重点目標・計画

④　各種対策に係る計画

1)　公害防止対策に係る計画

目標

ばい煙発生施設からの排出規制にかかわる目標値および管理測定計画

排水にかかわる水質管理目標および監視測定計画

目標のために講じる措置・対策

2)地球温暖化対策に係る計画

排出削減目標前年度の電気・燃料の使用量及び今年度の使用予定量

二酸化炭素排出削減目標

目標達成のための措置

3)公害防止対策地球温暖化対策以外の環境保全活動にかかわる目標、計画

令和8年度　環境保全計画書

株式会社　ロック・フィールド　神戸ファクトリー

① 環境保全に関する基本方針

≪環境理念≫

私達は地球と自然を大切にします。
私達の事業は、お客様に提供するSOZAIを通じて豊かなライフスタイルの創造に貢献することを柱としています。
この事業で用いる材料、エネルギーはすべて自然の恵みを受けたものです。
自然の恵みを大切にし、余すことなく活用することが、私達のSOZAIの価値を高
め、さらに事業活動の意義を高めると考えます。
私達は地球環境に配慮した企業活動により、食の可能性を切り拓き、豊かな未来を共創する
「SUSTAINABLE FOOD COMPANY」として、持続可能な食の豊かさに向けて取り組みます。

≪環境方針≫

1.汚染の予防
生物多様性の保全に配慮し、環境法令・条例、および自主管理基準の順守により環境汚染
の未然防止に努めます。

2.地球温暖化防止
省エネルギーの推進と再生可能エネルギーへの転換を進め、温室効果ガスの削減に取り組
みます。

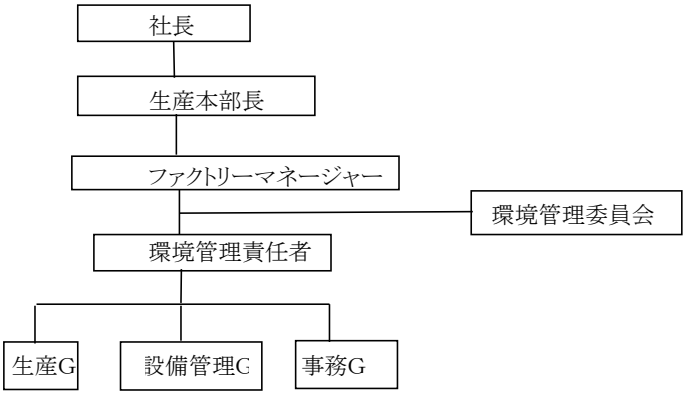
3.循環型社会の実現
リフューズ、リデュース、リユース、リサイクルを促進し、自然の恵みを大切に余すこと
なく活用することで循環型社会の実現に貢献します。

4.継続的改善
環境への取り組みを計画的に行い、継続的な改善を推進することで持続可能な食の提供を
進化させていきます。

5.コミュニケーション
社員一人ひとりの環境意識の向上と実践を促すとともに、お客様、お取引様、従業員、
および地域社会に対しての情報開示と対話を大切にし、社内との共生に努めます。

2022年10月
株式会社　ロック・フィールド

② 環境保全にかかわる組織の状況



③ 2026年度の重点目標・計画

●エネルギーの使用抑制

《目標》　電気使用量を　年間 7,044.1　千kwh以下に抑える

《目標》　ガス使用量を　年間　760.4　千㎥以下に抑える

●廃棄物の発生抑制

《目標》　動植物性残渣を　年間　303.1　t以下に抑える

《目標》　廃プラスティックを　年間　153.3　t以下に抑える

●資源の有効利用

《目標》　水の使用を　年間　103.4　千t以下に抑える

④ 各種対策に係る計画

1）公害防止対策に係る計画

目標

	目　　標
大気汚染防止対策	「大気汚染防止法」大気汚染防止法第4条第1項の排出基準に関する条例など法令を遵守する。 ばい煙発生施設からの排出規制を遵守する。
水質汚濁防止対策	「水質汚濁防止法」「環境の保全と想像に関する条例」　「下水道条例」などの法令の規定を遵守する。 できる限り非PRTR系物質で構成する薬剤を選択する。
産業廃棄物対策	廃棄物の処理及び清掃に関する法律の法令の規制を遵守し、廃棄物の適正処理を行う。廃棄物の発生量を抑制するとともに再利用を促進する。

ばい煙発生施設からの排出規制にかかわる目標値および管理測定計画

項目	自主規制値	目標値の根拠	定期測定の実施
1号機	規制値以下に抑える（但、規制値は現在猶予中） ダスト濃度0.1g/㎥N 窒素化物濃度150volppm以下		○ （2回/年）
2号機			○ （2回/年）
3号機			○ （2回/年）

排水にかかわる水質管理目標および監視測定計画

項目	自主規制値	目標値の根拠	定期測定の実施
PH	5～8	神戸市下水道条例による数値を上回る水質	○ （1回／日）
BOD	180以下	水質使用料徴収の非該当値内	○ （1回／週）
SS	180以下	水質使用料徴収の非該当値内	○ （1回／週）
ノルマルヘキサン	20以下	水質使用料徴収の非該当値内	○ （1回／週）

目標のために講じる措置・対策

大気汚染防止対策	ボイラーを0．65MPa以下での運転 ばい煙発生施設を定期的に工務Gの巡回にて監視 毎月1回メーカーによる点検
水質汚濁防止対策	除外施設の適正な維持管理につとめ、排水の水質測定を 定期的に行う。 PRTR法規制対象物質の排出抑制に努める 定期的な使用機器の保守管理
産業廃棄物対策	法令の規制を遵守し、法定の記録、報告を実施する 小集団活動により発生の抑制をめざす 分別を徹底し、適切なリサイクルを行う

2）地球温暖化対策に係る計画

○排出削減目標前年度の電気・燃料の使用量及び今年度の使用予定量

活動の区分	燃料の種類	単位発熱量	使用量（使用予定量）		単位
			前年度実績	今年度目標	
燃料の使用	都市ガス	45	764,700	764,700	
	その他				kg
電気事業者から供給された電気			7,055,600	7,055,600	kwh
熱供給事業者から供給された熱					MJ

○二酸化炭素排出削減目標

温室効果ガス		排出量(t-CO2)	削減目標
		前年度	今年度
二酸化炭素	電気	2,050	103
	ガス	2,640	132
	計	4,690	235

目標達成のための措置

具体的な施策では、館内のLED化更新継続、夜間電力使用、稼働状況に合わせたデマンドコントロール、設備の省エネ化更新などの環境投資を立案・実施。

3）公害防止対策地球温暖化対策以外の環境保全活動にかかわる目標、計画

分野		項目	目標
事業所等での廃棄物の適正処理	分別	分別の徹底	教育による徹底
	コピー用紙の使用削減	裏紙活用、両面化、集約化の推奨	継続実施
	作業のペーパーレス化	作業区のタブレット活用	作業のペーパーレス化
	適正処理	中間処理場の確認	視察計画に沿った処分場の確認
従業員教育		教育の年間計画策定	計画された教育の実施
		環境に関する外部教育・セミナー参加	1人/年
		小集団活動による主体的な取組の推進	重点目標の達成
環境管理システムの充実		ISO14001認証継続 ～2026年9月	活動の改善継続
		内部監査実施	年1回実施
社外のとりくみへの協力		リサイクル協力企業の候補を探す	1つの取り組み事象を残す